



報道関係各位

<本内容は 10 月 11 日にフランス・パリで発表されたリリースの抄訳です>

2016 年 10 月 13 日

## **GE、16 億 5,000 万ドルで、風力発電用ブレードの世界的メーカー LM ウインドパワーを買収**

【2016 年 10 月 11 日：フランス発】 デジタル・インダストリアル・カンパニーの GE は本日、風力発電用のブレード製造をおこなう LM ウインドパワー（本社：デンマーク）を 16 億 5,000 万ドルで買収することを発表しました。この買収によって GE リニューアブルエナジーは風力発電用ブレードの設計・製造事業を取り込むこととなり、風力発電タービンの出力向上および陸上・洋上いずれの風力事業者に対しても、新たな価値を提供することが可能となります。

再生可能エネルギー発電の設備容量は 発電コストの低下、また各国が低炭素エネルギー導入政策などにより、年々増加傾向にあります。2015 年には世界中で新たに設置された発電設備容量の約 50% は再生可能エネルギーを発電源とするもので、35%は風力発電でした。

GE リニューアブルエナジーのジェロム・ペクレス社長兼 CEO は次のように述べています。「GE は風力発電の先進的なサプライヤーである LM ウインドパワーを買収することにより、さらに競争力のある発電コストを達成できる技術的なイノベーションが可能になると考えています。両社の技術・製品とグローバルにおける実績を組み合わせることで、柔軟なソリューションが世界中のお客様に提供できるようになるでしょう。」

また続けて以下のように述べています。「LM ウインドパワーと GE はローカルなお客様ニーズに応えることができ、より柔軟に、タービンの性能向上を図りながら、イノベティブな製品設計やコスト低減に向けた態勢が実現します。また、私たちはデジタルやサービスの機能面でも向上することが可能となり、いずれもお客様の競争力を高めることでグローバル規模での風力発電事業の成長をサポートします。」

LM ウインドパワーのマークドゥジョン CEO は次のように述べています。「両社の組織はきわめて補完的で、お客様ニーズにすばやく対応すること、およびウインドタービンの性能を向上させ、最終的には発電コストの低減に寄与することが可能となります。GE リニューアブルエナジーとともに成長戦略を加速させ、カスタマーによりよい価値を提供し続けることに取り組んでまいります。」

LM ウインドパワーはこれまで 30 年以上にわたってブレードの設計・製造・サービスとロジスティックを提供しており、190 種の特許技術を有する先進的なメーカーです。GE はこれまで自社でブレードを製造せず、LM ウインドパワーからおもにブレードの提供を受けてきました。LM ウインドパワーは、1978 年からおよそ発

電容量 77 ギガワットの風力発電タービン用のブレードに相当する 18 万 5,000 本のブレードを製造しており、毎年 1 億 4,700 万トンの CO2 削減に貢献しています。これからも品質、コスト、研究開発、顧客とのよりよい関係性構築に対するコミットメントの結果、こうした実績が築き上げられました。

LM ウインドパワーはデンマーク、スペイン、ポーランド、カナダ、アメリカ、インド、中国とブラジルの 8 カ国の合計 13 箇所に製造拠点を構え、風力発電の成長市場内またはその近接した地域でカスタマー向けサービスを実施してきました。

今回の買収契約締結後においても、GE は LM ウインドパワーを GE リニューアブルエナジーの事業部門のもとで別会社として運営する予定です。また、LM ウインドパワーのお客様すべてをサポートし、これまでの関係性を維持・発展できるようにします。GE はまた他のサプライヤーからもブレードの供給を受ける予定です。LM ウインドパワーは現在の経営陣によって運営され、本社も現在のグローバルテクノロジーセンターを構えるデンマークと変わりません。

この買収における EBITDA（減価償却前税引前利益）倍率は 8.3 で（2016 年見込）監督当局や政府等の承認を必要としています。GE は 2017 年前半までの買収完了を目指しています。この買収による収益への貢献は 2018 年から徐々に現れることを想定しています。なお、2001 年より LM ウインドパワーはロンドンにある投資会社ドーティーハンソンが所有していました。

###

本件に関するお問い合わせ

GE ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーション本部（担当：小池）

TEL: 03-5544-3847 / Email: sumito.koike@ge.com